

な るほど その30 本願寺

本願寺 恒例法要と行事 12月

『本願寺御煤払(おすすはらい)』

・日時: 12月20日(金曜日)晨朝後～午前9時頃まで
※晨朝(朝のお勤め)は午前6時15分頃に終了し、
御煤払は準備作業等の後、午前7時頃より実施いたします。

・場所: 阿弥陀堂や御影堂(国宝)・渡廊下・縁側など

本願寺では新年を迎えるにあたり、毎年12月20日に御煤払を行っています。門信徒やご縁のある方がたと共に、国宝の阿弥陀堂や御影堂などに溜まった1年のほこりを払う様子は、京都の年末の風物詩となっています。



えんことが出
来る感謝の思
いを込めて、
除夜の鐘を撞
こうと思っ
ています。



善教寺鐘楼堂

煩惱を振り払う...という意味合いが一般的ではありません。しかし私の煩惱の数は、百八個どころではありませんので、今年、一年を過ごさせてもらった感謝と、次の年、一年を迎えることが出来ることを祈ります。

令和二年版、届きましたでしょうか？なかなか良い感じに仕上がっています(自画自賛)。
表紙の写真は、親鸞聖人像(昭和四十九年建立)の迫力ある写真を使いました。親鸞聖人の御顔もとに、光が射している瞬間のベストショットです。撮影時の私のイメージは、『明るく希望に満ち溢れた未来に歩みを進める親鸞聖人』という感じでしょうか。「愛別離苦」の言葉と共に、親鸞聖人の写真を見て、何かを感じ頂けたら、有り難いです。
報恩講が終わると、次は除夜会です。除夜の鐘を撞くと、「今年も終わったな」としみじみと感じ入ります。古より煩惱の数は百八個あり、故に大晦日に百八回鐘を撞いて

住職レター

各御門徒宅の報恩講参りも佳境を迎えました。いよいよ十二月二日には善教寺本堂にて報恩講を勤めます。今年は柏原地区の皆さまがご接待して、多くの参拝者をお迎え致しますので、ご参拝くださいね。

お手元に、法要日程案内を兼ねた善教寺パンフレット